

Jikencenter

NEWS

自研センターニュース

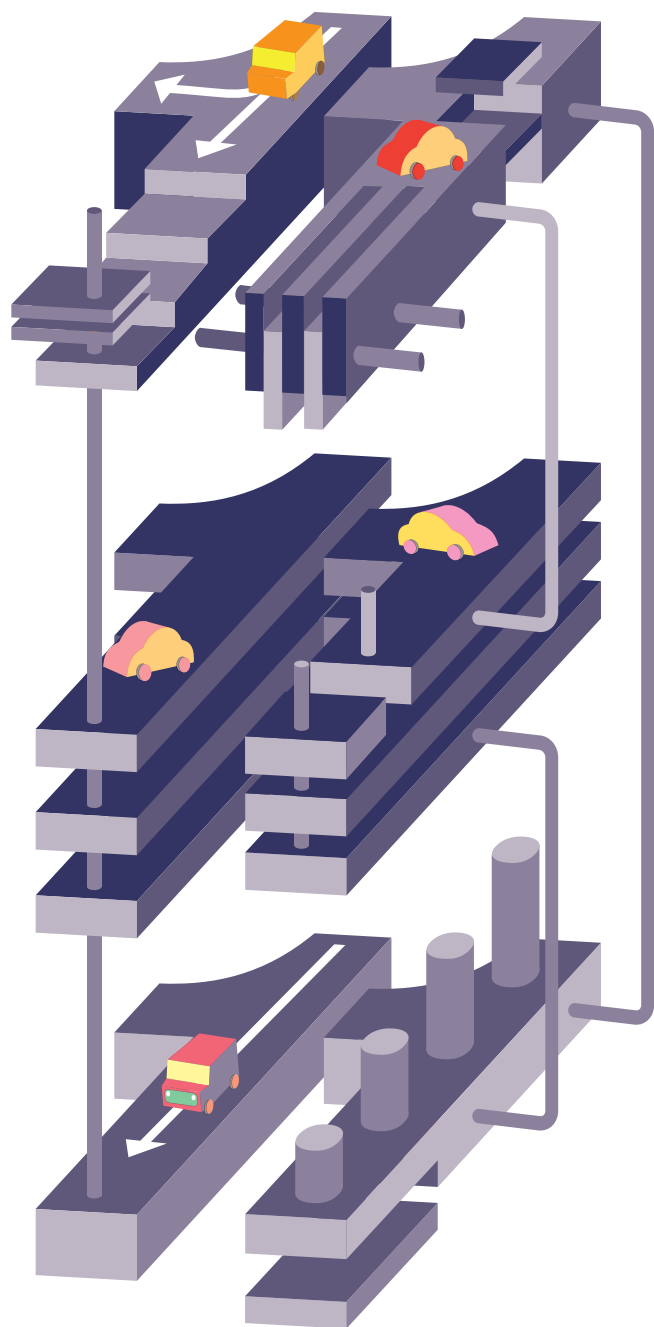
令和2年11月15日発行
毎月1回15日発行(通巻542号)

11

NOVEMBER 2020

C O N T E N T S

新型車構造情報.....	2
ボルボV60 (ZB420) の フロント構造について	
技術情報.....	7
高級輸入車の車台番号打刻および塗装表示位置	
修理情報.....	19
輸入車の合成樹脂部品の 補給形態について	
車両地上高・四面図	23
ニッサン リーフ ZE1系	
「構造調査シリーズ」新刊のご案内	24



新型車構造情報

ボルボ V60(ZB420)の フロント構造について

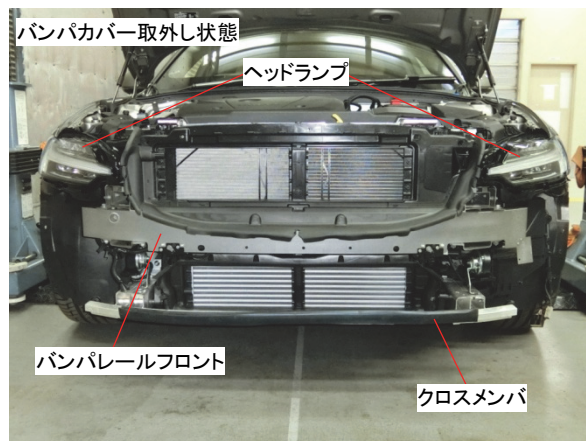
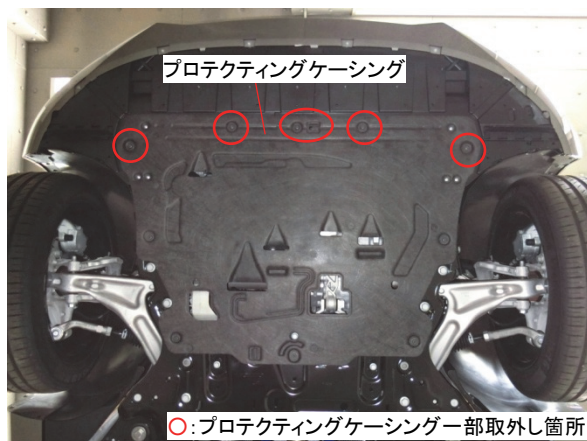
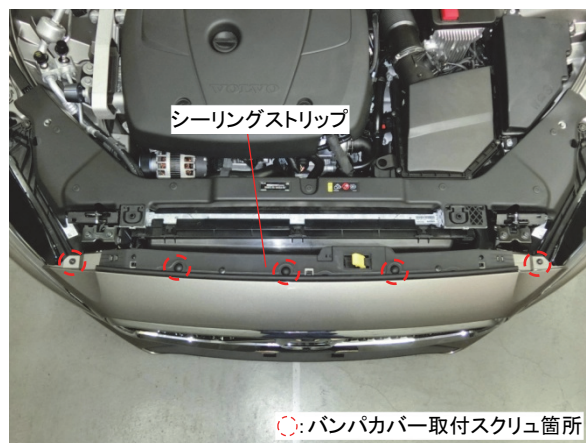
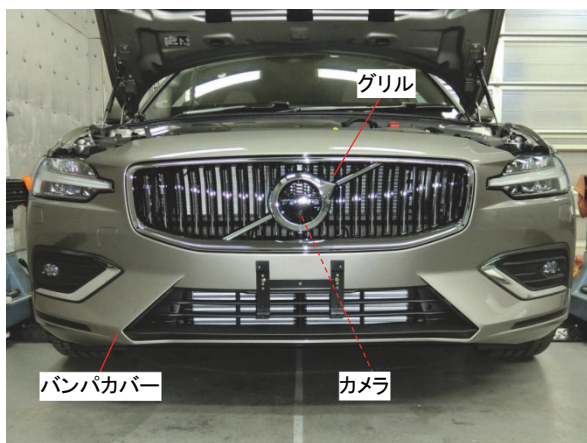
ボルボ V60 (ZB420) T5 Inscription のフロント周りの構造と取外し作業について紹介します。



1. フロントバンパの特徴

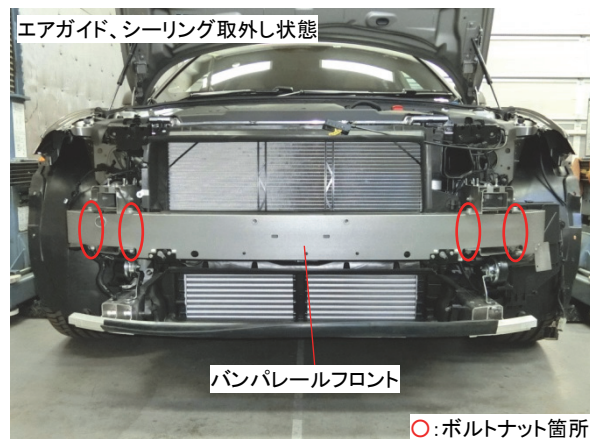
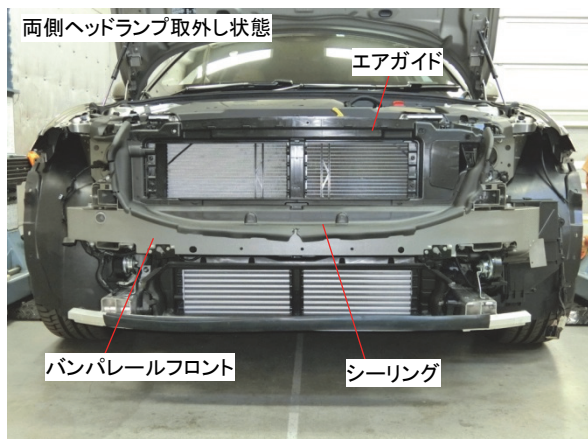
(1) フロントバンパの構造

バンパカバー上部に配置されるグリルは、バンパカバーと一体で取外します。グリルに取付けられているエンブレム裏側には、カメラが取付けられています。取外しは、バンパ上部のシーリングストリップおよび下部のプロテクティングケーシングの一部を取外し後、バンパカバーを取外します。



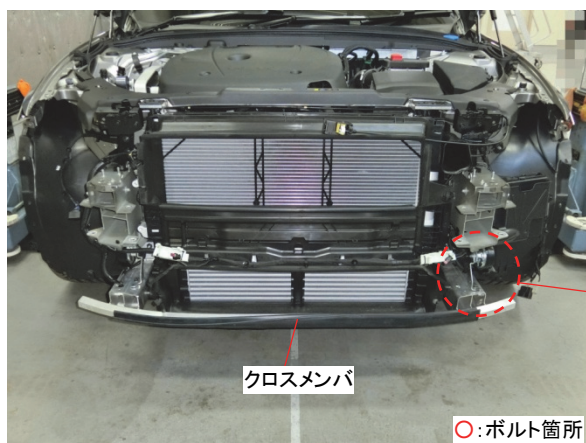
(2) バンパレールフロントの取外し作業

バンパレールフロントを取外す際には、両側ヘッドランプ、エアガイドおよびシーリングの取外しが必要です。バンパレールフロントはサイドメンバにボルトナットで取付けられています。

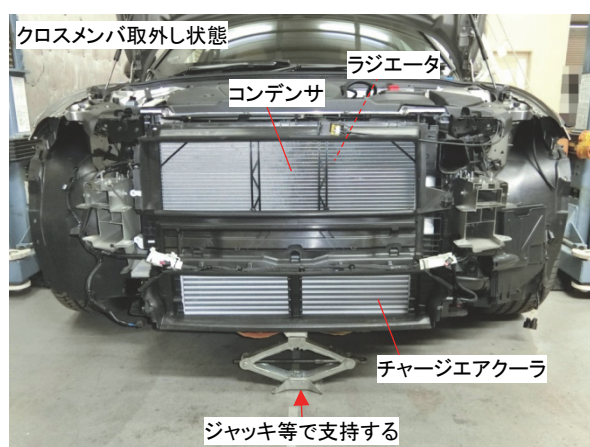
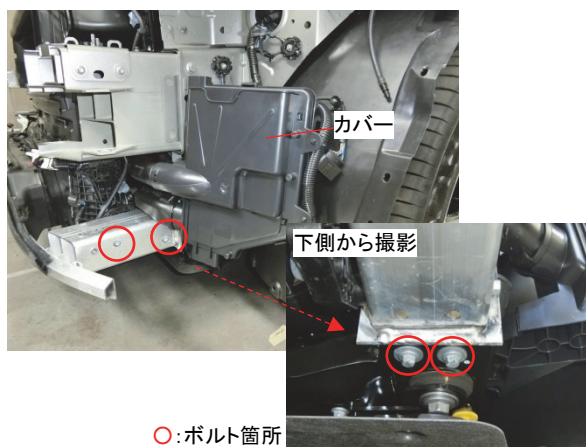


(3) クロスメンバの取外し作業

クロスメンバはボルトで取付けられています。クロスメンバを引き抜く際の作業スペースを確保するため、ホーン低周波を取外し、カバーを一部縁切ります。



クロスメンバは、コンデンサ、ラジエータおよびチャージエアクーラを固定しているため、取外す際にはジャッキ等を使用して支持します。



(4) フロントバンパ周辺の構成部品



2. フロントエンド構造の特徴

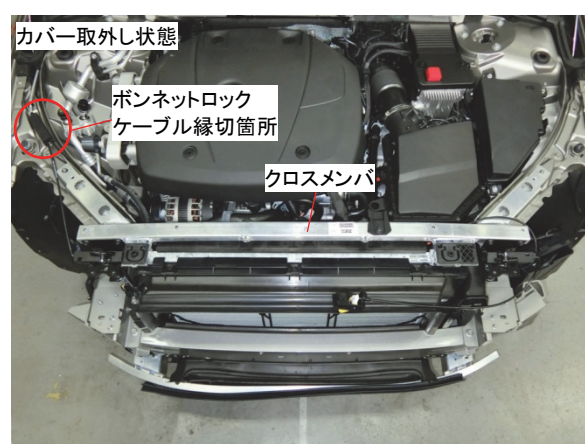
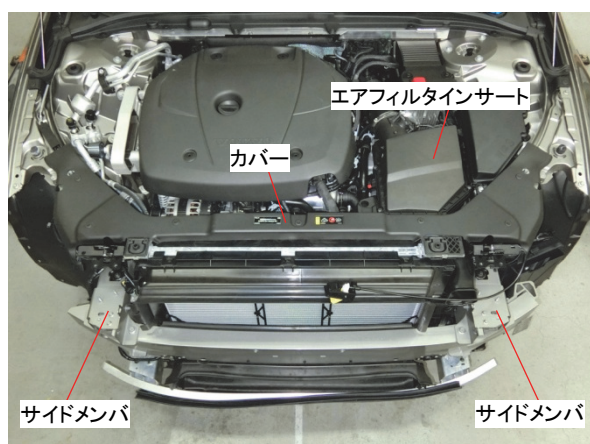
(1) フロントエンド構造

フロント周りを構成しているクロスメンバはアルミニウム合金、サイドメンバは鋼板が使用されており、それぞれボルトで取付けられています。

各種冷却装置は、車両前方からコンデンサおよびラジエータの順に取付けられています。コンデンサおよびラジエータ下部にはチャージエアクーラが配置されています。

クロスメンバの取外し作業は、上部のカバー、エアフィルタインサートを取外し、ボンネットロックはケーブルを縁切ってクロスメンバー一体で取外します。

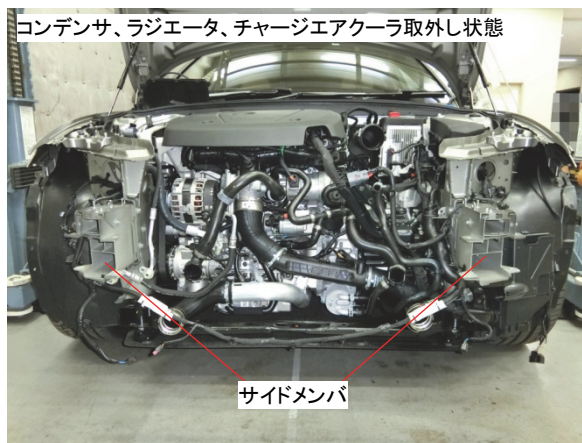
サイドメンバの取外し作業は、コンデンサ、ラジエータおよびチャージエアクーラを取外し後にサイドメンバ外側および内側の取付けボルトを外し、取外します。



クロスメンバ取外し状態

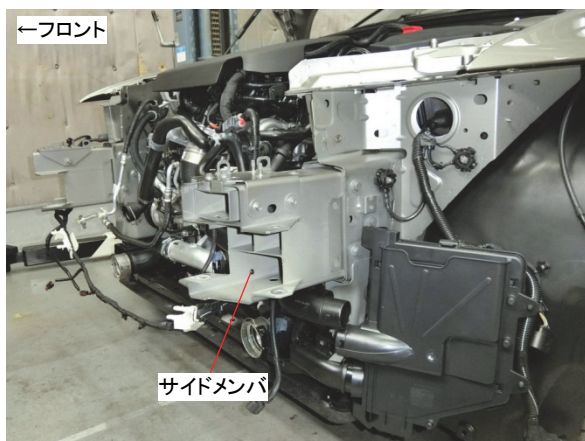


コンデンサ、ラジエータ、チャージエアクーラ取外し状態



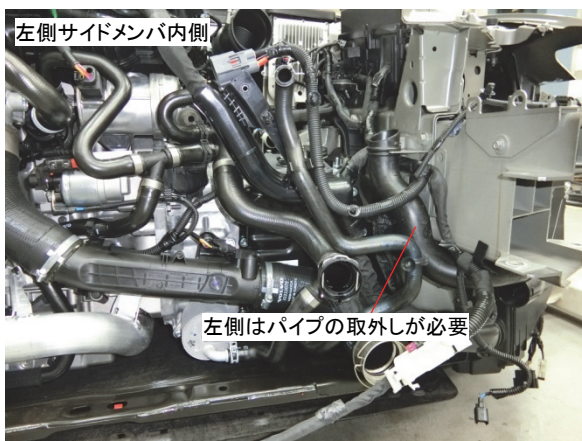
サイドメンバ

←フロント



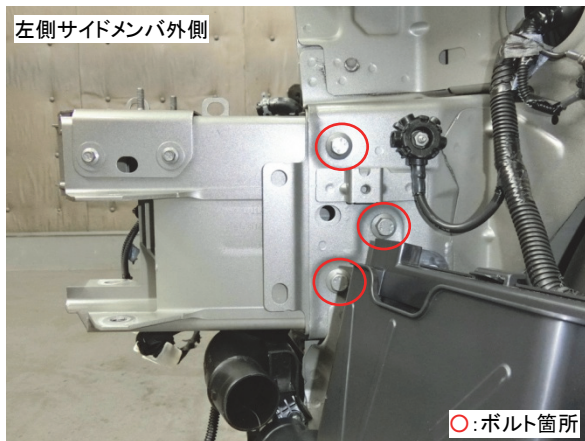
サイドメンバ

左側サイドメンバ内側



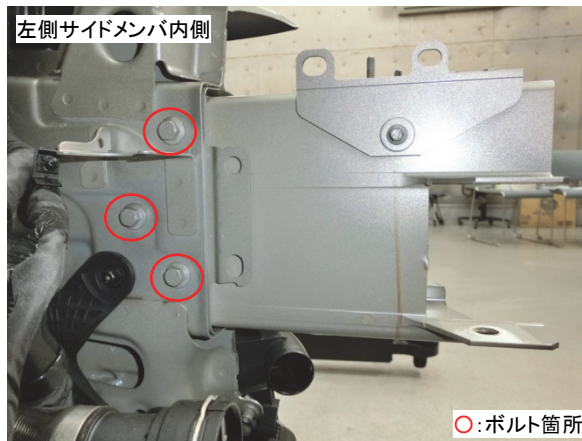
左側はパイプの取外しが必要

左側サイドメンバ外側



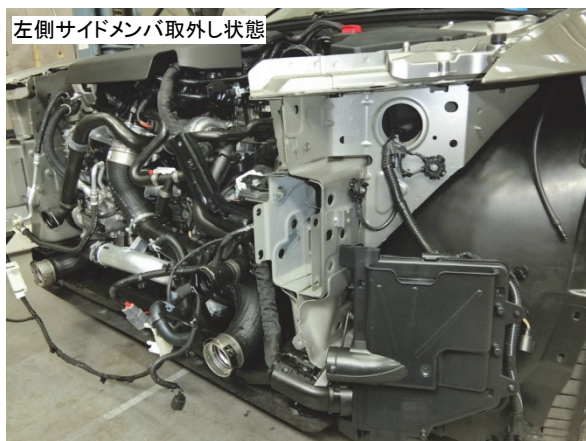
○:ボルト箇所

左側サイドメンバ内側



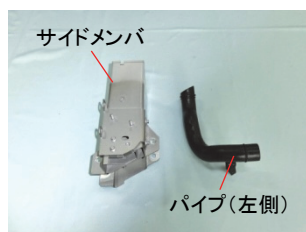
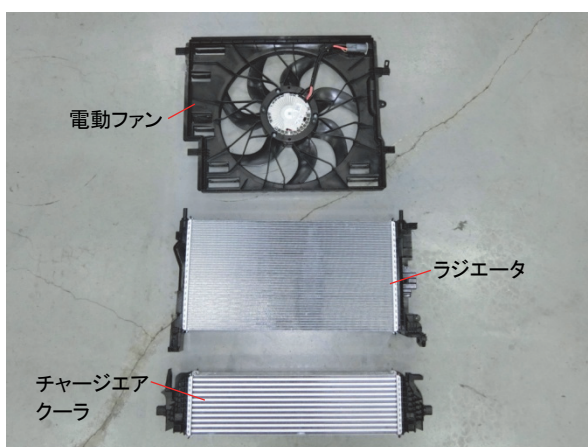
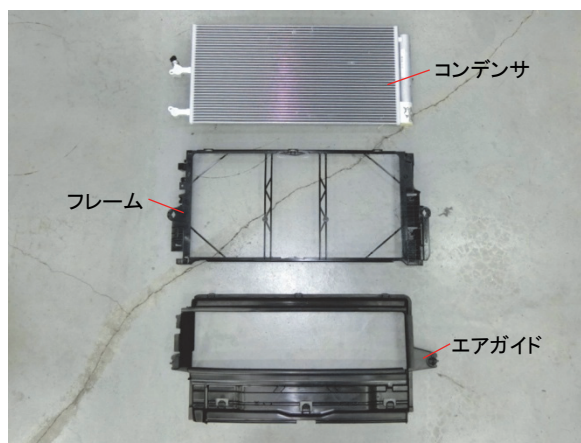
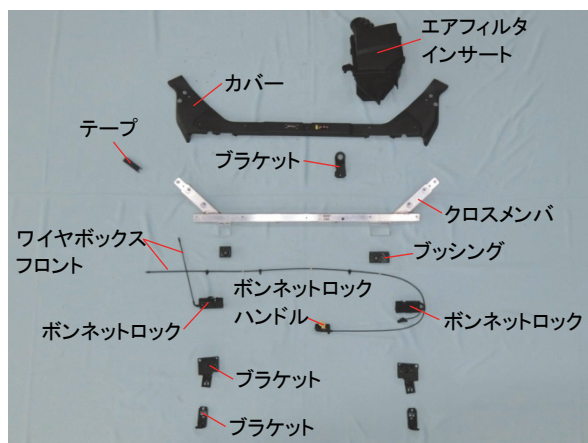
○:ボルト箇所

左側サイドメンバ取外し状態



サイドメンバは、損傷に応じて上写真のボルト箇所までの範囲で取替えることができます。ただし、それより後部のサイドメンバ半裁取替作業は設定されていません。

(2) フロントエンド周辺の構成部品



3. まとめ

今回紹介させていただいた内容は、イヤーモデルにより構造が変更される場合がありますのでご注意くださいとともに、損傷見積りなどにおいては現車および最新の情報をご確認ください。

また、ボルボ・カー・ジャパン株式会社では、作業によって専用の故障診断機やスペシャルルールを指定しており、該当部位への損傷が確認された場合は「認定ボディショップ」への入庫を推奨しています。

JKC (指数部／小林さと美)

高級輸入車の車台番号打刻および塗装表示位置

1. はじめに

今回は、高級輸入車の車台番号打刻および塗装表示（カラー番号）位置をご紹介します。

車台番号打刻は、車検証の記載内容との整合性や不正打刻の有無など、塗装表示（カラー番号）は、製造時の塗色からの変更有無など、損害調査だけでなく継続検査や板金塗装をする際にも確認が必要になります。

2. 車台番号打刻およびカラー番号位置

登録台数が少なく情報も少ないと思われる4メーカー（9車種）を調査しました。

（1）Ferrari（Ferrari については、ASSEMBLY ナンバー※位置も併せてご紹介します）

※アッセンブリーASSEMBLYナンバー…部品価格の確認や注文時に必要になることがあります。

①F8 トリブート（販売期間：2019年6月～現在、エンジン：V型8気筒ターボ・排気量3902cc・最高出力720ps、駆動方式：ミッドシップエンジンリヤ駆動、乗車定員：2名）

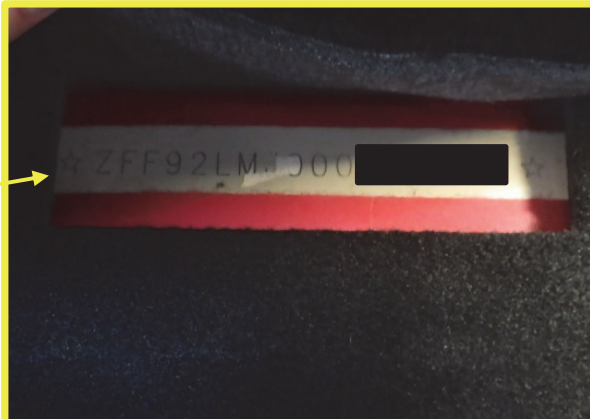
a. 外観



b. 車台番号打刻・塗装表示位置



車台番号打刻位置（右シート下部）



車台番号（打刻）
※カーペットの切れ目を捲る



塗装表示位置（トランクフード裏面）



カラー番号（ステッカー）

c. ASSEMBLY ナンバー位置



ASSEMBLY ナンバー位置（左フロントピラー）



ASSEMBLY ナンバー（ステッカー）

②FF（販売期間：2011年～2016年、エンジン：V型12気筒・排気量6262cc・最高出力660ps、
駆動方式：フロントエンジン4輪駆動、乗車定員：4名）

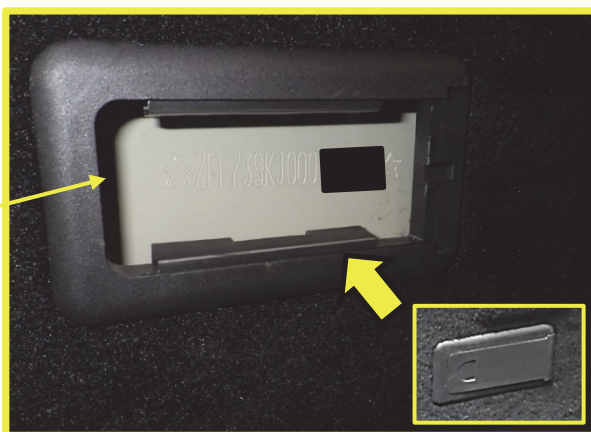
a. 外観



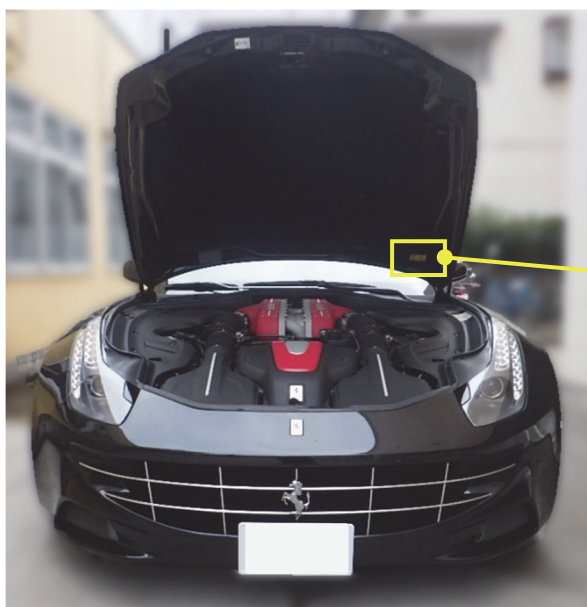
b. 車台番号打刻・塗装表示位置



車台番号打刻位置（右リヤシート前部）



車台番号（打刻）
※カバーを外す

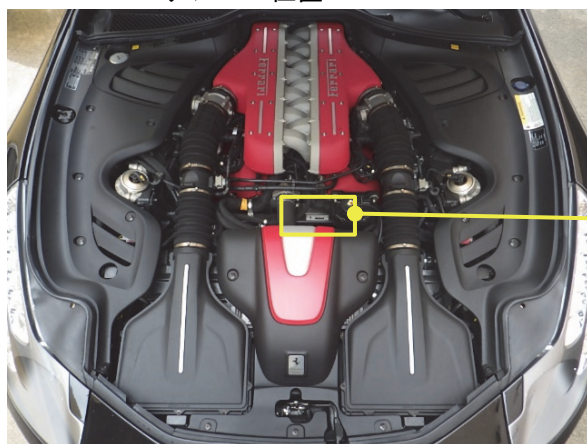


塗装表示位置（エンジンフード裏面）



カラー番号（ステッカー）

c. ASSEMBLY ナンバー位置



ASSEMBLY ナンバー位置
（エンジンルーム内フレーム上面）



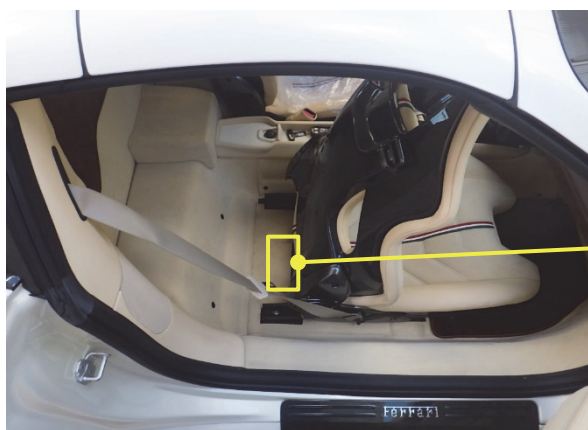
ASSEMBLY ナンバー（リベット締結）

③458 スパイダー（販売期間：2009 年～2015 年、エンジン：V 型 8 気筒・排気量 4499 cc・
最高出力 570ps、駆動方式：ミッドシップエンジンリヤ駆動、乗車定員：2 名）

a. 外観



b. 車台番号打刻・塗装表示位置



車台番号打刻位置（右シート下部）



車台番号（打刻）
※カーペットの切れ目を捲る

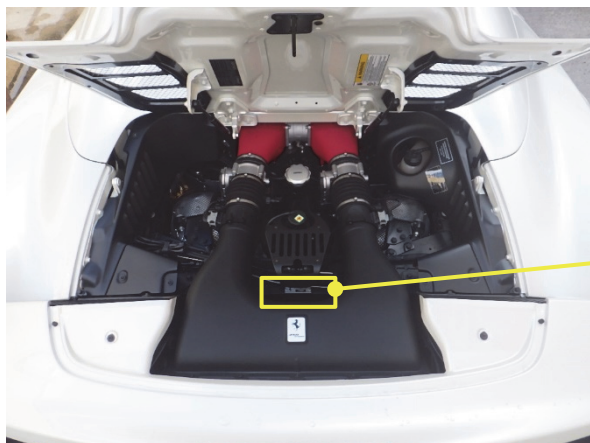


塗装表示位置（トランクフード裏面）



カラー名（ステッカー）
※カラー番号の記載なし（特別色のため）

c. ASSEMBLY ナンバー位置



ASSEMBLY ナンバー位置
(エンジンルーム内フレーム上面)



ASSEMBLY ナンバー (リベット締結)

④カリフォルニア (販売期間 : 2008 年～2013 年、エンジン : V 型 8 気筒・排気量 4297 cc・
最高出力 460ps、駆動方式 : フロントエンジンリヤ駆動、乗車定員 : 4 名)

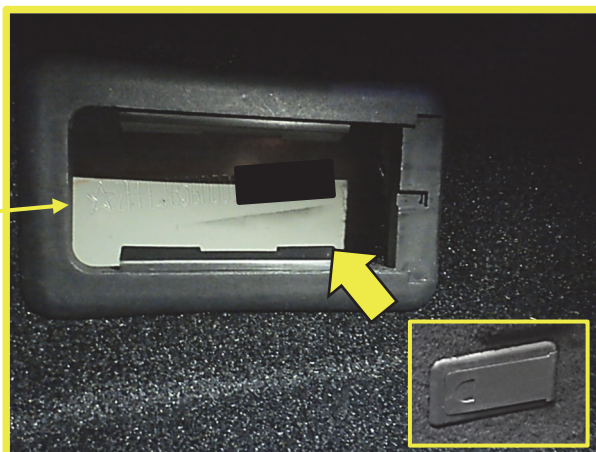
a. 外観



b. 車台番号打刻・塗装表示位置



車台番号打刻位置 (右リヤシート前部)



車台番号 (打刻)
※カバーを外す



塗装表示位置（エンジンフード裏面）

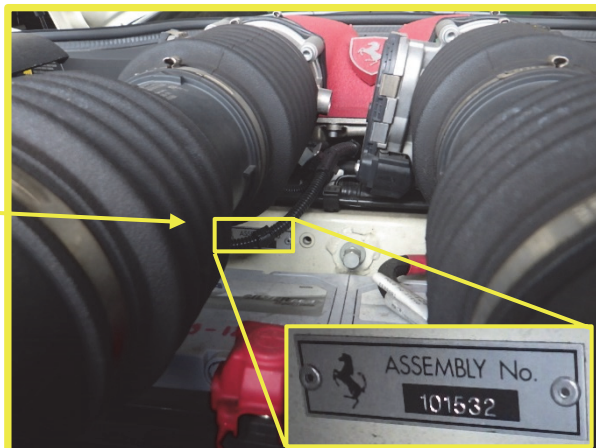


カラー番号（ステッカー）

c. ASSEMBLY ナンバー位置



ASSEMBLY ナンバー位置
（エンジンルーム内フレーム上面）



ASSEMBLY ナンバー（リベット締結）

(2) Bentley

- ① コンチネンタルGT（2代目、販売期間：2011年～2017年、エンジン：V型8気筒ターボ・
排気量 3992 cc・最高出力 507ps、駆動方式：フロントエンジン4輪駆動、乗車定員：4名）
※コンチネンタルフライングスパーの姉妹車

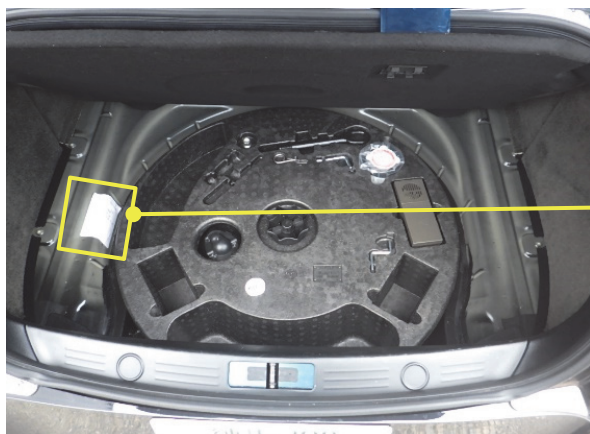
b. 車台番号打刻・塗装表示位置



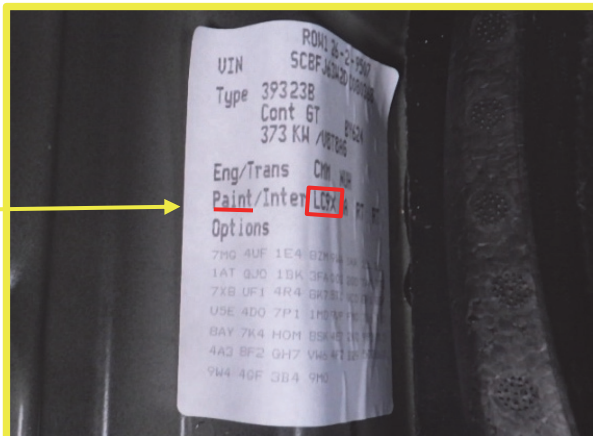
車台番号打刻位置（カウルパネル右側）



車台番号（打刻）



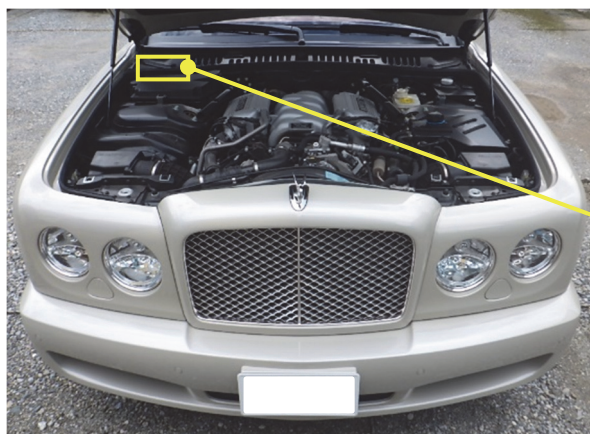
塗装表示位置（リヤフロア左側）



カラー番号（ステッカー）
※サービスハンドブックにも同様のステッカーが
貼り付けされておりカラー番号も記載されている

②アズール（2代目、販売期間：2006年～不明、エンジン：V型8気筒ターボ・排気量6750cc・
最高出力457ps、駆動方式：フロントエンジンリヤ駆動、乗車定員：5名）※アルナージの姉妹車

b. 車台番号打刻・塗装表示位置



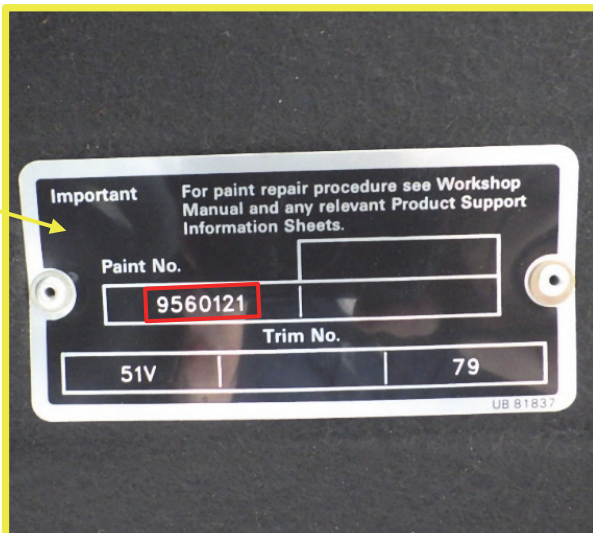
車台番号打刻位置（カウルパネル右側）



車台番号（打刻）



塗装表示位置（エンジンフード裏面）



カラー番号（リベット締結）
※サービスハンドブックに記載なし

(3) ASTON MARTIN

①DB9（販売期間：2004年～2016年、エンジン：V型12気筒・排気量5935cc・最高出力456ps、駆動方式：フロントエンジンリヤ駆動、乗車定員：4名）

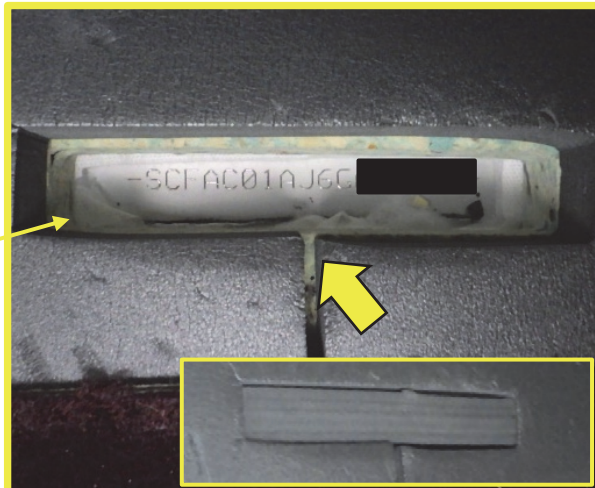
a. 外観



b. 車台番号打刻・塗装表示位置



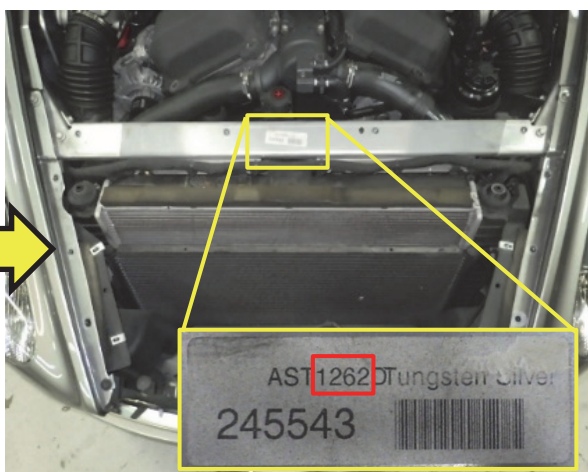
車台番号打刻位置（右フロント足元）



車台番号（打刻）
※フロアマットを捲り、蓋を外す



塗装表示位置（エンジンルーム内フレーム上面）
※カバーを外す



カラー番号（ステッカー）

②V12 ヴァンキッシュ（販売期間 2001 年～2007 年、エンジン：V 型 12 気筒・排気量 5935 cc・最高出力 450ps、駆動方式：フロントエンジンリヤ駆動、乗車定員：4 名）※塗装表示確認できず

a. 外観



b. 車台番号打刻・塗装表示位置



エンジンルーム内に塗装表示なし



車台番号打刻位置（右フロント足元）



※フロアカーペットはカッター等で切り込み
されている部位を捲る



車台番号（打刻）
コーションプレート（リベット締結）

(4) Rolls-Royce

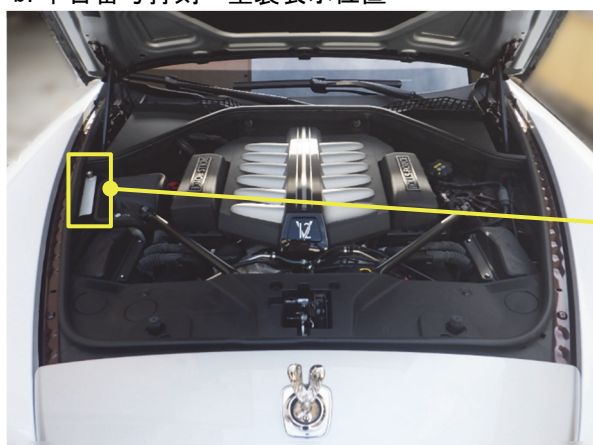
① レイス (販売期間：2013 年～現在、エンジン：V 型 12 気筒ターボ・排気量 6592 cc・

最高出力 632ps、駆動方式：フロントエンジンリヤ駆動、乗車定員：4 名) ※ゴーストの姉妹車

a. 外観



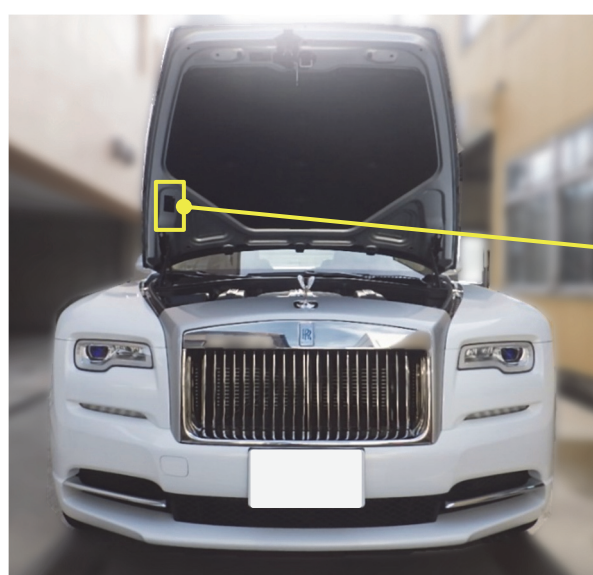
b. 車台番号打刻・塗装表示位置



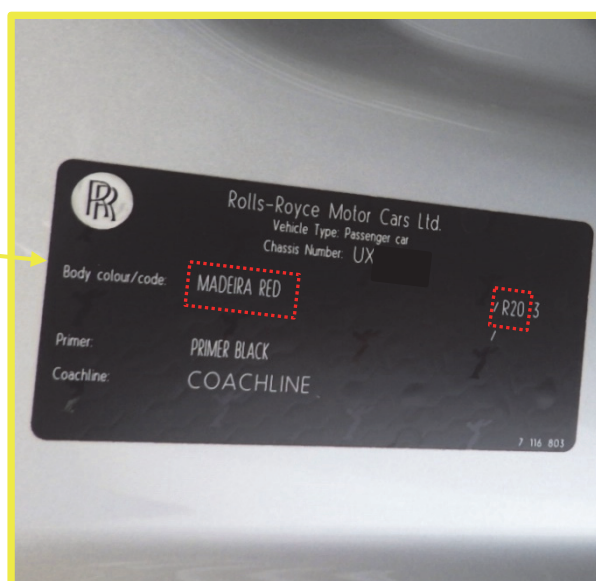
車台番号打刻位置 (右フェンダエプロン)



車台番号 (打刻)



塗装表示位置 (エンジンフード)



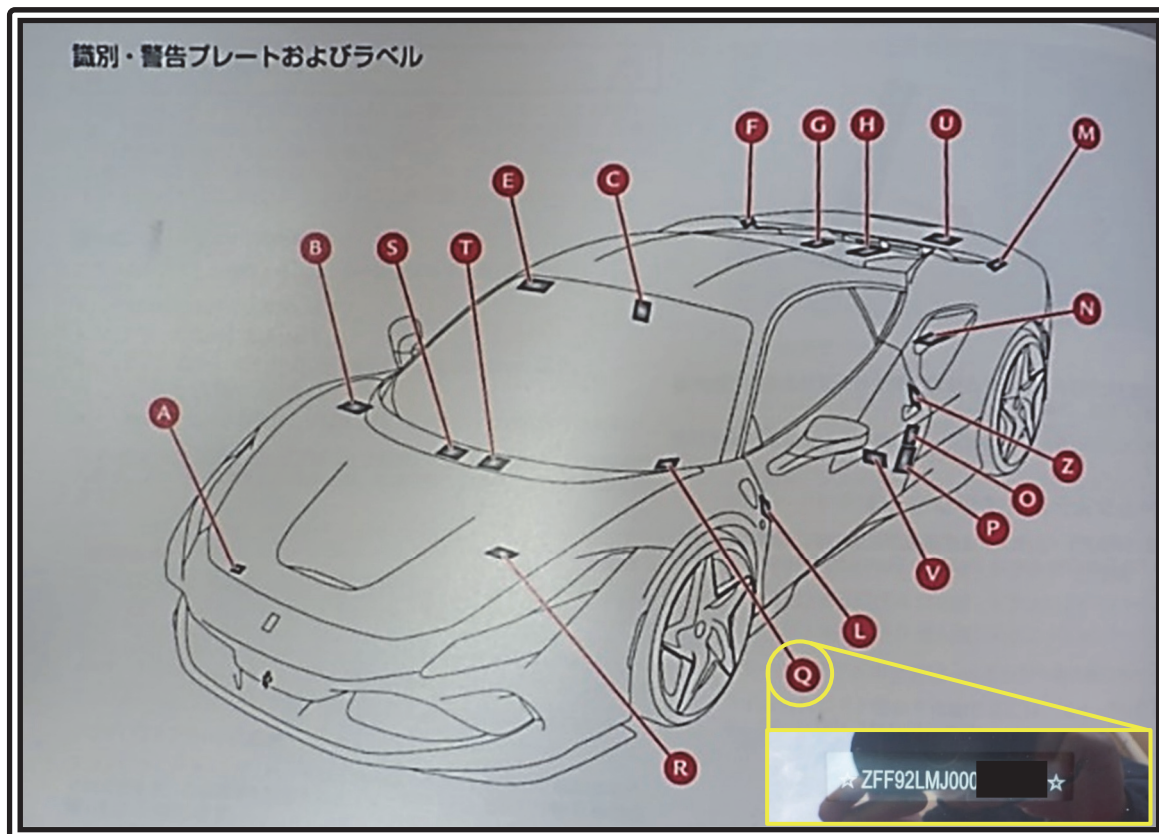
カラー番号 (ステッカー)

※赤破線：当該車両は全面ラッピング車両のため、カラー番号と車体色は一致していない

3. オーナーズハンドブック

Ferrari のオーナーズハンドブックには識別・警告プレートおよびラベル位置が記載されています。
車台番号（シャシナンバー）の表示位置としては、打刻位置ではなく、フロントウィンドウ左下に取付けられているプレート（Q）が示されています。

（図）



リファレンス	ラベル/プレート	位置
A	ロービーム型式認定	トランクリッド
B	ECE 型式認定	トランクリッド
C	車両識別	ボディ：助手席側 C ピラー
E	助手席エアバッグ警告	助手席側サンバイザー
F	無鉛ガソリン・給油手順	フューエルフィルターフラップ
G	ラジエーターに不凍液を使用	エンジンルーム右側パネル
H	エンジンタイプとナンバー	クランクケース
L	アッセンブリーナンバー	運転席側ドアヒンジの下
M	エンジン/ギアボックスオイル表示	エンジンルーム左側パネル
N	ギアボックスタイプとナンバー	ギアボックスハウジング
O	タイヤ空気圧とタイプ	運転席側ドア
P	TPMS 装備警告	運転席側ドア
Q	シャシーナンバー	フロントウィンドウ
R	塗装表示	トランクリッド
S	ブレーキフルード	右側アンダーフロントウィンドウシールド上
T	冷媒ガス	左側アンダーフロントウィンドウシールド上
U	ストップ/スタートシステムの警告	ボンネットの左側
V	カーボンファイバーホイール警告	運転席側ドア
Z	ウィンタータイヤの許容最高速度	助手席側 C ピラー上

（図引用：フェラーリ「F8 トリブート・オーナーズハンドブック」より）

4. まとめ

車台番号打刻および塗装表示位置は、カーメーカーにより一定の傾向が見られました。

車台番号打刻位置		右シート 下部	右リヤシート 前部	カウルパネル 右側	右フロント 足元	右フェンダ エプロン
Ferrari	F8 トリブート	○				
	FF		○			
	458 スパイダー	○				
	カリフォルニア		○			
Bentley	コンチネンタル GT			○		
	アズール			○		
ASTON MARTIN	DB9				○	
	V12 ヴァンキッシュ				○	
Rolls-Royce	レイス					○

塗装表示位置		トランクフード 裏面	エンジンフード 裏面	リヤフロア 左側	エンジンルーム内 フレーム上面
Ferrari	F8 トリブート	○			
	FF		○		
	458 スパイダー	○			
	カリフォルニア		○		
Bentley	コンチネンタル GT			○	
	アズール		○		
ASTON MARTIN	DB9				○
	V12 ヴァンキッシュ	確認できず			
Rolls-Royce	レイス		○		

5. おわりに

今回、高級輸入車の車台番号打刻および塗装表示位置をご紹介しました。これらは、年式により変更されている可能性もありますので、実車確認をする際の参考として業務に活用いただければ幸いです。

JKC (研修部／伊藤 鎌史)

修理情報

輸入車の合成樹脂部品の 補給形態について

輸入車の現行モデル 4 車種 BMW 320i (G20)、BMW 118i (F40)、フォルクスワーゲン Polo および
アウディ A4 Avant の合成樹脂部品の材質ならびに補給部品の塗装の状態について紹介します。

1. BMW320i (G20) (5F20) M Sport (2019 年 3 月発売)

【合成樹脂部品の使用箇所】

※赤字は塗装済補給



番号	部品名	材質記号	材質	補給形態
1	牽引フックカバー	PC-ABS	ポリカーボネート-ABS 樹脂	プライマ済
2	フロントグリル	ASA (バー部)	アクリルニトリルスチレンアクリレート	塗装済
		ABS (メッキ部)	ABS 樹脂	メッキ
3	フロントバンパトリムパネル	PP+EPDM-TX15	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TX15	プライマ済
4	ドアシルカバー	PP+EPDM-TX20	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TX20	プライマ済
5	ドアミラーカバーキャップ	ABS	ABS 樹脂	プライマ済
6	リアバンパカバー	PP+EPDM-TX15	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TX15	プライマ済
7	リアロアバンパトリムパネル	PP+EPDM-TX15	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TX15	塗装済
8	牽引フックカバー	PC-ABS	ポリカーボネート-ABS 樹脂	プライマ済
	牽引フックカバーリヤ	PP+EPDM-TV20	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TX20	塗装済
9	フィラフラップ	PPE/PA	ポリフェニレンエーテル/ポリアミド	プライマ済
10	ドアハンドルアウト	PC-ABS	ポリカーボネート-ABS 樹脂	無塗装

- ・EPDMは、エチレンプロピレンジエン三元共重合体のことで、耐老化性、耐オゾン性、耐寒性、熱安定性に優れる合成ゴムです。
エチレンプロピレンゴムとも言われます。
- ・無塗装は、素地色のまま装着するものをさします。

2. BMW118i (F40) (7K15) M Sport (2019 年 8 月発売)

【合成樹脂部品の使用箇所】

※赤字は塗装済補給



番号	部品名	材質記号	材質	補給形態
1	フロントグリル	ASA (バー部)	アクリルニトリルスチレンアクリレート	塗装済
		ABS (メッキ部)	ABS 樹脂	メッキ
2	フロント牽引フックカバー	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	プライマ済
3	ライセンスプレートベース	PP+EPDM-TV15UV	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TV15UV	無塗装
4	フロントバンパトリムパネル	PP+EPDM-TV16	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TV16	プライマ済
5	アップドアシルカバー	PP+EPDM-TV20	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TV20	プライマ済
6	ロアドアシルカバー	PP+EPDM-TV20	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TV20	プライマ済
7	ドアミラーカバーキャップ	ABS	ABS 樹脂	プライマ済
8	ドアハンドルアウト	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	プライマ済
9	ライセンスプレートベース	PP+EPDM	ポリプロピレン+EPDM ゴム	無塗装
10	リアアップバンパトリムパネル	PP+EPDM-TV15	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TV15	プライマ済
11	リアロアバンパトリムパネル	PP+EPDM-TV15	ポリプロピレン+EPDM ゴム-TV15	塗装済
12	カバーリア牽引フック	PC/PBT	ポリカーボネート/ポリブチレンテレフタレート	塗装済
13	トランクリッドスポイラ	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	プライマ済

・EPDMは、エチレンプロピレンジエン三元共重合体のことで、耐老化性、耐オゾン性、耐寒性、熱安定性に優れる合成ゴムです。エチレンプロピレンゴムとも言われます。

・無塗装は、素地色のまま装着するものをさします。

3. フォルクスワーゲン Polo (AWCHZ) TSI Highline (2018 年 3 月発売)

【合成樹脂部品の使用箇所】



番号	部品名	材質記号	材質	補給形態
1	フロントバンパカバー	PP+EPDM-TD10	ポリプロピレン+EPDM ゴム・TD10	プライマ済
2	フロントライセンスプレートブラケット	PP+EPDM-TD10	ポリプロピレン+EPDM ゴム・TD10	無塗装
3	フロントスポイラ	PP+EPDM-TD10 UV	ポリプロピレン+EPDM ゴム・TD10 UV	無塗装
4	フロントトローイングアイカバー	PC-PBT	ポリカーボネート-ポリブチレンテレフタレート	プライマ済
5	LED ヘッドライト (ハウジング部)	PP+GF30	ポリプロピレン+ガラス繊維	—
6	ミラーキャップ	ABS	ABS 樹脂	プライマ済
7	キャップまたはハウジング<フロントドア>	PC-ABS	ポリカーボネート-ABS 樹脂	プライマ済
8	ハウジング<リヤドア>	PA6+GK30	ポリアミド+ガラス繊維	プライマ済
9	リヤバンパカバー	PP+EPDM-TD10	ポリプロピレン+EPDM ゴム・TD10	プライマ済
10	リヤライセンスプレートブラケット	PP+EPDM-TD10	ポリプロピレン+EPDM ゴム・TD10	無塗装
11	リヤディフューザ	PP/EPDM	ポリプロピレン/ EPDM ゴム	無塗装
12	リヤカバーキャップトローイングヒッチ	ABS-PC	ABS・樹脂-ポリカーボネート	プライマ済
13	テールライト (ハウジング部)	PC-ABS	ポリカーボネート-ABS 樹脂	—
14	フューエルフィラフラップ	PPE-PA	ポリフェニレンエーテル-ポリアミド	プライマ済
15	ドアハンドルアウト	PA6+GF30	ポリアミド+ガラス繊維	プライマ済

- EPDMは、エチレンプロピレンジエン三元共重合体のことで、耐老化性、耐オゾン性、耐寒性、熱安定性に優れる合成ゴムです。
エチレンプロピレンゴムとも言われます。
- 無塗装は、素地色のまま装着するものをさします。

4. アウディ A4 Avant (8WCVN) 1.4 TFSI sport (2016 年 2 月発売)

【合成樹脂部品の使用箇所】

※赤字は塗装済補給



番号	部品名	材質記号	材質	補給形態
1	ライセンスプレートブラケット	PC+PET	ポリカーボネート+ポリエチレンテレフタレート	無塗装
2	フロントバンパカバー	PP/PE+EPDM	ポリプロピレン/ポリエチレン+EPDM ゴム	プライマ済
3	トーイングアイカバー	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	プライマ済
4	カバーキャップ	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	プライマ済
5	マトリックス LED ヘッドライト (ハウジング部)	PP+GF10-TD20	ポリプロピレン+ガラス繊維・TD20	—
6	ミラーキャップ	ABS/PC	ABS 樹脂/ポリカーボネート	プライマ済
7	ドアハンドルトリムプレート	PC-PBT-MF12	ポリカーボネート・ポリブチレンテレフタレート・MF12	プライマ済
8	LED テールライトインナ (ハウジング部)	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	—
9	ライセンスプレートトリム	ASA	アクリロニトリルスチレンアクリレート	無塗装
10	リヤバンパカバー	PP/PE+EPDM-TD10	ポリプロピレン/ポリエチレン+EPDM ゴム・TD10	プライマ済
11	スポイラ	PP/PE+TPO-TD10	ポリプロピレン/ポリエチレン+オレフィン系熱可塑性エラストマー・TD10	無塗装
12	LED テールライトアウト (ハウジング部)	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	—
13	フューエルフィラフラップ	PPE/PA	ポリフェニレンエーテル/ポリアミド	プライマ済
14	スポイラ<アウト部>	PC-ABS	ポリカーボネート・ABS 樹脂	プライマ済
15	リヤスポイラ<アウト部>	PMMA	アクリル樹脂	塗装済

・EPDMは、エチレンプロピレンジエン三元共重合体のことで、耐老化性、耐オゾン性、耐寒性、熱安定性に優れる合成ゴムです。

エチレンプロピレンゴムとも言われます。

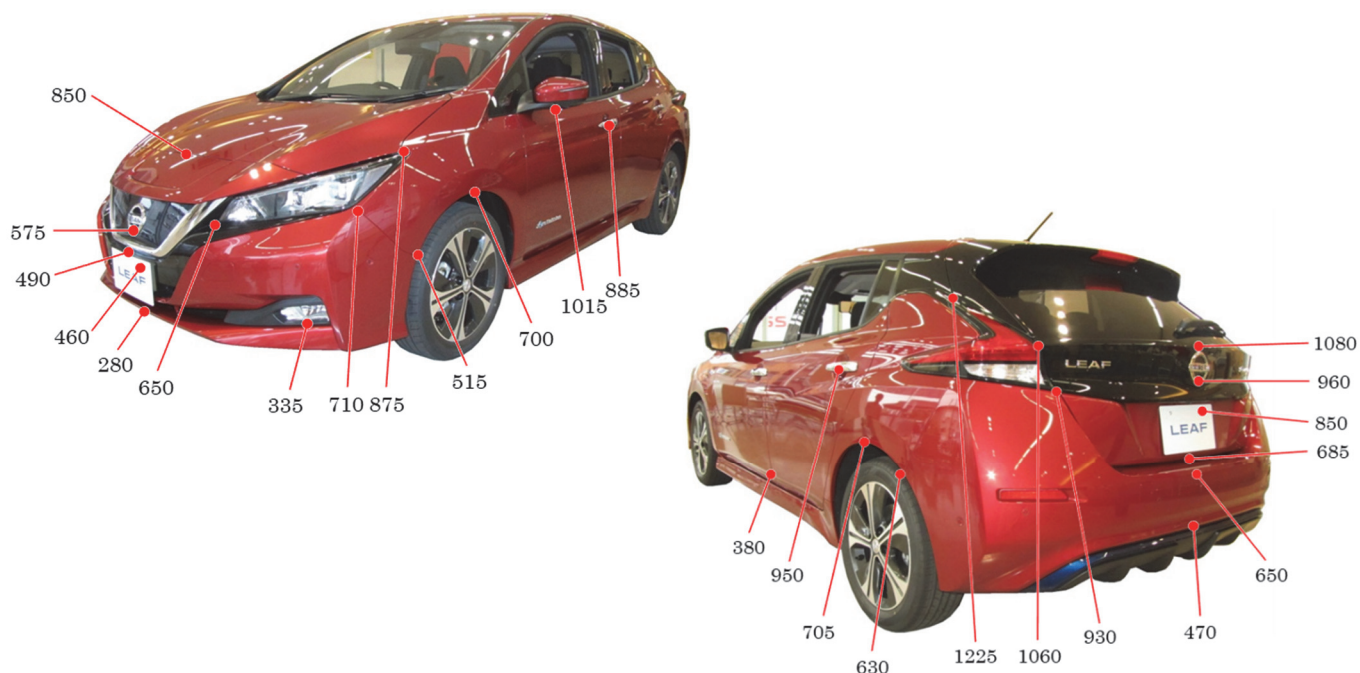
・無塗装は、素地色のまま装着するものをさします。

JKC (指数部/小林さと美)

車両地上高・四面図

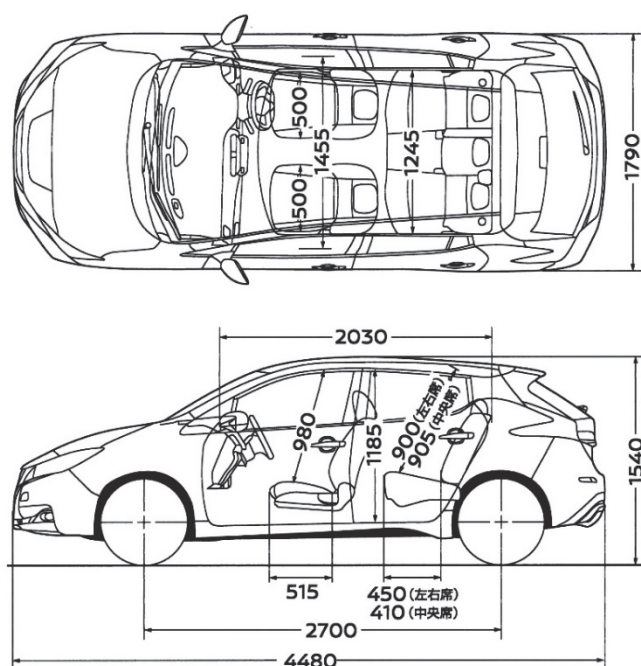
ニッサン リーフ ZE1 系

日産自動車株式会社から 2017 年 10 月に発売された「リーフ ZE1 系」の各部の地上高（単位 mm）です。ドアミラーは開いた状態です。



※上記数値は、自研センターでの地上からの実測測定参考値（測定車両は G）です。

二面図



JKC (指数部／浜田 利夫)



<https://jikencenter.co.jp/>



〈お詫びと訂正〉

自研センターニュース

2020年9月号 P29、P30

2. ヘッドランプレンズ採用車種一覧

(2020年6月末現在・各メーカー パーツカタログ調べ)

詳細につきましては自研センターHP

<https://jikencenter.co.jp/>をご覧くださいよう

宜しくお願い致します。訂正してお詫び申し上げます。

「構造調査シリーズ」新刊のご案内

自研センターでは新型車について、損傷した場合の復元修理の立場から見た車両構造、部品の補給形態、指数項目とその作業範囲、ボデー寸法図など諸データを掲載した「構造調査シリーズ」を発刊しておりますが、今月は右記新刊をご案内いたしますので、是非ご利用ください。

販売価格：国産車(1,067円+税別)、送料別

：輸入車(2,057円+税別)、送料別

No.	車 名	型 式
J-865	VW ティグアン	5NDFGF

お申し込みは、当社ホームページからお願いいたします。

<https://jikencenter.co.jp/>

お問い合わせなどにつきましては

自研センター総務企画部までお願いします。

TEL：047-328-9111 FAX：047-327-6737

自研センターニュース 2020.11 (通巻542号) 令和2年11月15日発行

発行人／関正利 編集人／木村宇一郎

© 発行所／株式会社自研センター 〒272-0001 千葉県市川市二俣678番地28 Tel(047)328-9111(代表) Fax(047)327-6737
定価381円(消費税別、送料別途)

本誌の一部あるいは全部を無断で複写、複製、あるいは転載することは、法律で認められた場合を除き、著作者の権利の侵害となります。必要な場合には予め、発行人あて、書面で許諾を求めてください。

お問い合わせは、自研センターニュース編集事務局までご連絡ください。